

2024. 4. 24 金曜カンファレンス

先日、園内で今年度最初の「金曜カンファレンス」を行いました。

担任6人中、今年度の異動で来られた方が二人。

それぞれこども園、小学校からの異動です。

この新たなメンバーで、写真をもとに学年ごとに4月の遊びの様子を紹介し、子供たちの姿を核に語り合います。

「この時期、新入园児さんも混じる年中さんが、キャラクターになりきって遊んでいることには、どういう意味があるのか」

「なりきることで、お互いの仲間意識が芽生えているのかもしれない。」

「新しい環境へのドキドキが緩和されていくのかもしれない」

「自分のなりたいが教師によって保障されていく中で、園や教師に対する安心感や信頼感へと変わっていくこともあるだろう」

各教員は、子供たちの思いにこたえようと毎日必死ですが、このようにふと保育を職員らでいろいろな視点で振り返ってみると、保育中は見えないことも見えてくることがありました。

年少さんの生き物との関わりことや、死を悲しいこととして受け止めることなど、具体的な姿からみんなで考えていきます。

新しく異動してきた教員も自分なりの考えを伝えながら、みんなで語り合うことでこの園の目指す方向性を共有したり、再確認したりすることにもつながっていきます。

また、今はまだ子供たちとの信頼関係づくりに頑張っていることや、いろいろな悩みなど、なんでも話せる金カンの雰囲気は協働するコミュニティの土台ともなっています。

まだまだ手探りで、子供たちの安心・安全を保障しながら、目の前の保育に必死な毎日ですが、日々の語り合いを大切に、一歩ずつ子供たちと一緒に保育を進めていきたいと思います。

